

- 新潟米の品質向上と安定生産を目的に県下全域で土づくり運動を展開しています。
- 土づくり肥料の施用率拡大に向け、低コスト土づくり肥料の開発、受託施肥支援をおこなうとともに、実証展示圃の設置と土壌分析結果にもとづく効果の見える化に取り組みます。

新潟県の水田土壌の実態

(新潟県農業総合研究所、2016データ)

単位	下限値	村上	新発田	新潟	新津	巻	三条	長岡	柏崎	魚沼	南魚沼	十日町	上越	糸魚川	佐渡
有効態ケイ酸 (mg/100g)	15	9.1	10	10.4	6.5	10.9	6.1	8	9.9	6.9	7.6	10.1	9.4	8.2	7.3
遊離酸化鉄 (%)	1.5	1.18	0.93	2.34	1.86	2.37	2.34	2.22	2.2	1.98	1.48	1.26	2.3	1.06	1.89

低コスト水稲用土づくり肥料

越後の輝き ソイル米スター

- ケイ酸を30%保証
(高溶出ケイ酸を含む)
- 扱いやすい15kg包装
- 施肥量
2袋以上/10アール
- 低コスト土づくりに貢献



**県内全地域で「ケイ酸」が不足しています。
「鉄」が大幅に不足している地域があります。**



- 銀メッキ板※を用いた
硫化水素の“見える化”
- ※秋落ち(収量・品質低下)の原因となる硫化水素の発生が多いほど“黒変”する。
- 硫化水素の発生が多い圃場では
土壌中の「鉄」や「マンガン」が少ないので、土づくり肥料等で成分補給が必要です。